

俳人・種田山頭火、詩人・中原中也、作家・森鷗外。 それぞれの故郷を巡り、

彼らが息づく街並みや空気をあじわいながら、 まだ知らない山口の文学の魅力を再発見してみませんか。

オリジナルグッズがもらえる!



シール貼り付け欄







中原家の交友

世

の

-3.

るさと

也と父と鷗外

0

意外な関係





- 1 ラリーシートを持参して、各館入館受付の際にシールをもらう。
- 2 ラリーシートにシールをはる。
- 3 シールを3つまたは4つ集めたら、施設でシートを見せて、 文学ラリーオリジナルのノベルティをゲット!





抽選プレゼント

抽選で20名さまに 各施設のグッズセット (5.000円相当)が当たる!

4館シールを集めた方は 「応募カード」を受け取り、 住所・氏名を書いて応募



ノベルティのお渡しは、おひとりさまにつき1枚のラリーシートに限ります。 ノベルティはなくなり次第終了とさせていただきます。

○ 発熱や風邪の症状がある場合はご来館をお控えください。

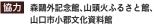


各館WEBサイトでご確認ください。ご理解、ご協力のほど、よろしくお願いいたします。

中原中也記念館 〒753-0056 山口県山口市湯田温泉1-11-21 電話:083-932-6430



主催 公益財団法人山口市文化振興財団 中原中也記念館









文学者たちの エピン

種田山頸火

ころり寝ころべば青空



山頭火と

山口県防府市出身の俳人・種田山頭火は山口市小郡に「其 को के 中庵」を結庵し、そこから湯田温泉に通いました。 のちに、湯田 温泉に「風来居」をかまえ、中也の弟たちと交流を深めました。 中也と山頭火は直接会うことはありませんでしたが、中原家に 出入りしていた山頭火に弟が兄・中也の作品を見せたことが あったといいます。また、温泉好きの山頭火はいくつも湯田の 句を詠んでいます。「朝湯こんこん音たててあふるるよ」「あか るくあつくあふれる湯にひたりおもひでし

中原中也



おまへはもう静かな部屋に帰るがよい

詩人・中原中也は牛後半年間と、6歳から15歳まで山口で暮 らしました。中也の詩「一つのメルヘン」「帰郷」は山口の風景 がモデルになったといわれています。遠く離れて暮らしていて も、中也の心のなかにはいつも故郷の姿がありました。帰省 すると中也はなつかしい景色の中を散歩し、弟たちと大いに 語り合いました。東京の友人に手紙を書くときに、観光地であ る山口市・瑠璃光寺の五重塔などの絵葉書を使うこともありま した。第二詩集『在りし日の歌』出版のための清書原稿を友人 に託し、帰郷を決心していた中也でしたが、結核性脳膜炎に倒 れ鎌倉の地で亡くなります。

足ることを知ることこそが、 幸福である。

「高瀬舟」より



小説「舞姫」「雁」などで知られる作家・森鷗外は、SL「やまぐ ち」号の終着駅がある島根県津和野の出身です。軍医でも あった鷗外は、中也の父・謙助が陸軍軍医学校に在籍してい たとき、その校長を務めていました。中也は自分の名前は鷗外 につけてもらったと友人たちに話していましたが、母・フクによ れば、謙助の上官・中村緑野につけてもらったものだというこ とです。中也の父母も文学を愛好する一面がありましたが、中 也の文学への熱中ぶりには困っていたようです。

中原中也記念館 Nakahara Chuga Museum







中原中也記念館は、中原中也のふるさと山口 を訪れる人々に、その風土を通じて中也の世界 を感じていただくことを目的として、平成6(1994) 年2月18日、生誕地に開館しました。

中也の生家は湯田温泉に広い敷地をもつ大 きな医院でしたが、昭和47(1972)年の火事で 茶室と蔵を残して焼失しました。記念館はその生 家跡の一部に建てられており、火事の際に遺族 によって運び出された中也の遺稿や遺品を中心 に、貴重な資料を公開しています。中也の30年 の生涯や作品の紹介、年数回の展示替えを行 い、何度訪れても新鮮な中也の世界に触れるこ とができます。

- JR湯田温泉駅から徒歩10分
- 中国自動車道小郡ICから車で15分
- 湯田温泉バス停から徒歩1分



住 所 山口県山口市湯田温泉1-11-21

開館時間 9:00~18:00(入館は17:30まで) 月曜日(祝日の場合はその翌日)、

電話 083-932-6430

入館料 一般 330円、学生 220円

18歳以下・70歳以上(要証明書)無料

WEB https://chuyakan.jp/



森鷗外記念館





Mori Ogai Memorial Museum

独立した鷗外の専門的な記念館としては世界 で初めての施設です。国指定史跡・森鴎外旧宅 の南側に隣接し、鷗外旧宅を展示物の一部とし て取り込んでいます。第一展示室では軍医とし て、そして文学者としての二生を生きた鷗外が、 10歳で上京したところから60歳でその生涯を閉 じるまでを映像や著作、遺品、直筆原稿など豊富 な資料で紹介しています。第二展示室では、多 感な時期を過ごした津和野時代を資料と映像で 紹介しています。

展示を通して、幅広い鷗外像を紹介し、鷗 外文学への親しみと理解を深めていただけ ます。

------ アクセス------

- JR山口線 津和野駅から徒歩30分
- 中国自動車道 小郡ICから車で70分



島根県鹿足郡津和野町町田イ238 入館料 9:00~17:00(入館は16:45まで) 月曜日(祝日の場合はその翌日)

一般 600円、中高生 400円、

小学生 250円 電話 0856-72-3210

http://www.town.tsuwano.lg.jp/

今なお人々を魅了してやみません。



山口市小郡文化資料館







Yamaguchi City Ogori Cultural Museum

小郡文化資料館は、地域の歴史や文化を学 ぶ施設として「種田山頭火と其中庵」、「ふるさと ゆかりの美術」、「ふるさとの歴史」、「むかしの暮 らし」の四つの展示室で構成しています。市民の 方による発表・展示・研修の場として、ギャラリー や研修室の利用も可能です。山頭火が暮らして いた「其中庵」を復元した建物が、資料館から徒 歩15分のところにあり、無料開放しています。



----- アクセス.-----

- JR新山口駅北口から徒歩15分
- 中国自動車道小郡ICから車で7分 ■ 川陽白動車道川口南ICから車で20%



住 所 山口県山口市小郡下郷609番地3

(祝日の場合は開館、翌平日振替休館)



電話 083-973-7071

WEB http://cmogori.ec-net.jp



山頭火ふるさと館 Santoka



FT至富海▶

JR防府駅

10:00~18:00

IRII陽本線

山口県防府市宮市町5番13号

毎週火曜日(祝日の場合は翌平日)、

10月18日(月)~21日(木)(展示替えのため)

至富海駅

自由律俳句の代表的俳人、種田山頭火。 全国を行脚する中で詠まれた数多くの句は、

彼の故郷である山口県防府市に開館した山頭 火ふるさと館は、「山頭火をうたい、山頭火にした しみ、山頭火をつたえる」をテーマに、企画展や 講座などを開催し、山頭火の顕彰や継承を行う

また、自由律俳句の拠点として、人々の交流の 場や、山頭火とそのふるさと防府に関する様々な 情報を提供しています。

----- アクセス-----

- JR防府駅てんじんぐちから 徒歩20分







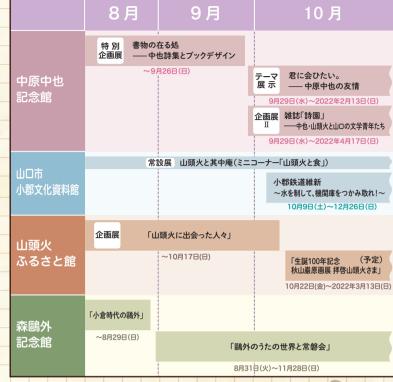
電話 0835-28-3107

WEB https://hofu-santoka.jp/



------ 展示ガイ

※各館、年間をとおした常設展示があります。







さて、何人兄弟だったでしょう。

- A 3人兄弟 B 6人兄弟
- ◎ 9人兄弟



- A フランクフルト B ベルリン
- デュッセルドルフ



好物は何でしょう。

- A とうふ
- B さしみ **○** ういろう

都道府県はどこでしょう。 A 鹿児島県

B 茨城県

○ 岩手県